

保護者様

富士市立富士中央小学校
校長 三村 隆政

令和3年度 第2回「学校評価」集計結果の報告

梅花の候、保護者の皆様には日頃より本校の教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、冬休み前に9月から12月前半までのお子さんの様子や家庭における保護者の取組、富士中央小学校の教育活動等を振り返り学校評価をしていただきました。その集計が完了しましたので報告させていただきます。今回は、7月に行った第1回と比較をしながら成果と課題を明らかにしました。この結果を今後の教育活動に生かし、子どもたちのより良い成長を目指して、家庭と地域、そして学校が手を携えこれまで以上に連携を深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

1 後期学校評価 共通・類似質問事項 肯定的な回答の割合

※下段は前期との比較差

共通質問事項（共通・類似）【（ ）内は保護者又は教師への質問】	グランドデザイン 目標値	児童	保護者	教師
① 学校生活は楽しい。（よい表情で学校に行っている。）	92	91.8 ↑+1.0	92.1 ↓-0.6	100.0 →0
② 授業はよく分かる。（理解している。）	90	88.4 ↓-1.0	90.0 ↓-0.2	92.6 ↓-3.4
③ 先生や友達に自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる。（伝えられている。）	70	73.4 ↓-1.2	76.2 ↑+0.8	77.8 ↑+17.8
④ 家で、自分で計画を立てて勉強している。（計画的に勉強している。）	富士市の 数値目標 60	71.3 ↓-1.6	62.0 ↓-0.2	63.0 ↓-9.0
⑤ 1か月に8冊以上読書をしている。（進んで読書している。） （富士市の目標は、1か月に7冊以上）	富士市の 数値目標 80	68.2 ↓-3.8	48.9 ↓-3.3	74.1 ↓-2.8
⑥ 【3年生以上のみ】外国の人と友達になりたい、外国のことについてもっと知りたい。（外国のことに興味を持っている。）	82	89.9 ↑+0.1	77.5 ↑+3.2	92.3 ↑+4.8
⑦ 自分のことを大切にしている。	90	93.0 ↑+0.8	96.1 ↓-0.7	96.3 ↑+0.1
⑧ 友達のことを大切にしている。	85	98.4 ↓-1.0	98.7 ↓-0.2	92.6 ↑+0.3
⑨ 自分から進んであいさつをしている。	88	89.6 ↑+2.2	79.5 ↑+1.1	74.1 ↑+20.2
⑩ 自分から進んで係・委員会活動を行っている。	85	90.5 ↑+0.6	94.1 ↑+1.4	85.2 ↓-7.1
⑪ 体を動かすことを楽しんでいる。（進んで運動している。）	95	94.1 ↑+1.9	87.4 ↓-2.5	92.6 ↓-7.4
⑫ 運動にあきらめずに挑戦している。	88	87.4 ↑+1.3	82.2 ↑+0.8	81.5 ↑+21.5
⑬ 学校生活の中で安全に気を付けて生活している。	93	95.4 ↑+2.1	94.0 ↑+2.4	74.1 ↑+12.6
⑭ 困ったことを富士中央小の先生に気軽に相談できる。	90	71.2 ↓-5.1	94.2 ↑+1.0	
⑮ ICT機器（タブレット・電子黒板・実物投影機等）を授業でかつようしている。	95	93.5 →0	92.7 ↑+2.5	77.8 ↓-9.7

新型コロナウイルス感染症の脅威がある世の中ですが、本校では「コロナ禍だからできないのではなく、コロナ禍であっても、みんなで作り上げていこう！」を合言葉に日常の教育活動や行事などを検討し、取り組んできました。

子どもたちは、「コロナ禍でもできること」を探り、新しいやり方で学習や児童会活動、日常生活などを工夫する様子が見られました。保護者の皆様や教師においてはグランドデザインに掲げた数値目標に到達できなかったものも幾つかありましたが、子どもたちの評価は前期よりも多くの項目で数値が上回りました。子どもたちが前向きに取り組めたという表れだと思います。また、保護者の方の数値も半数以上の項目で、前期よりも上回る傾向が見られました。

★ 授業や学習面に関して (No.1～No.6)

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7月に行った分散型の授業参観以外は、子どもたちが頑張っている姿をお見せすることができずとても残念でした。

日々の授業では、コロナ禍のため、例年通りならばできていた向かい合っただけの話合い活動やグループ活動は、人数を減らしたり、時間を制限したりする中で進めてきました。しかし、同時に、ICTを活用しながら、友達との意見交換を工夫して取り組んできました。これらの活動を通して、今年度目指してきたことの一つである「相手を意識した聴き方・話し方」に迫ることができました。しかし、マスクをしての活動のため、声が小さくなってしまふ・表情が分からないなどのマイナス面が引き続き見られていることも事実です。

これからの対策として、なお一層、学校全体で「何でも言える・言ってもいい」という温かい雰囲気育てるとともに、「相手の意図をくみ取って聴く力」や「伝えたいことを効果的に伝える力」などスキルの面もさらに鍛えていきたいと思ひます。

また、富士市ではGIGAスクール構想が進み、3年生以上に一人一台タブレットが配置され、常に使うことができるようになりました。それにより、オンライン学習や朝(昼)の会を行うことができたり、自分の意見や考えをパソコン上で友達と共有し考えを深めたり、授業だけでなく密にならない休み時間の過ごし方の一つとして用いたりすることもできました。私たち教員も様々な教科においてICTを活用して教育活動を充実させられるように研修を重ねてきました。今後、さらに教育活動の幅を広げていけるように、タブレットの効果的な活用方法について継続して研修していきます。

★ 生活・児童会活動等について (No.7～No.10)

生活・児童会活動に関わる項目では、ほとんどの項目で数値目標を達成することができました。「自分から進んであいさつをしていますか。」の項目では、児童、保護者、教師ともに前期より向上し、特に、子どもたちは、89.6%と高い数値を示しています。子どもたちは、日頃より明るいあいさつやその場に合った会釈ができています。また、生活委員会の子どもたちが取り組むあいさつミニリーダーの活動では、明るい声であいさつをする低学年の子ども姿を多く見ました。

前期に引き続き、各委員会では子どもたちは、よりよい学校を自分たちの手で作り上げていこうという気持ちを持って頑張っています。その例として、運営委員会が思いやりの心を学校中に広げようとラジオ番組風にして全校放送で伝えたり、音楽委員会がお昼のテレビ放送を使ってクリスマスソングをハンドベルで演奏し、全校に素敵な音楽を届けたりとコロナ禍でもできる活動についてアイデアを出し合い、取り組んでいました。

今年度から設けた「友達のことを大切にしている。」では、子どもたちは前期、後期とも高い数値を示しています。これは本校の子どもたちの心の優しさ、友達を思う姿を表していると感じています。今後も「自分のことを大切にしている」そして、「友達のことを大切にしている」子どもたちをご家庭や地域と力を合わせて育てていきたいと考えています。

★ 運動・安全面について (No.11～No.13)

運動・安全面に関わる学校評価では、運動面において児童の数値は第1回学校評価より上がっています。体育科の授業や外遊びについても、感染症対策を考え、対応してきています。制限がある中ですが、休み時間に外に出て友達と元気よく遊ぶ姿も多く見られました。私たち教員も外に出て子どもたちの姿を見守ったり、子どもたちがお互いに感染対策の意識を高められるように支援したりしていきながら、環境を整えています。(※急激な感染の拡大を受け、2月より20分休み、昼休みのない日課になっています。)

体育科の授業でもタブレットを活用することで、動きのポイントを分かりやすく視覚的に捉えられるように工夫したり、達成感を味わい楽しく運動したりできるように取り組んでいます。

安全面については、児童や保護者の皆さんの数値は、とても高い数値で目標を達成することができました。子どもたちが自分の体を大切にすることができていることなどから、学校内での怪我は、少なくなっていることが考えられます。学校では、登下校時の歩行の仕方や帰宅後の遊び方など、自分の命を守ることと同時に周囲の方のことも考えた行動について、繰り返し指導を行っています。今後も保護者の皆さんや地域の皆さんにも協力していただきながら、子どもたちの安心安全な学校生活を築いていきます。

2 保護者の方へのみの質問事項 肯定的な割合

保護者の方へのみの質問事項		R3 後期	前期との比較差
1	家で進んでお手伝いをしている。	66.0	↑+2.4
2	家庭での学習の様子を見届けたり励ましたりしている。	91.2	↑+0.3
3	子どもが忘れ物をしないように、見届けや声掛けをしている。	90.1	↓-2.7
4	子どもの食事や睡眠、体力づくり等への配慮をしている。	98.0	↑+1.0
5	学校からのお便りや配布物に目を通してている。	98.8	↓-0.2
6	子どもと学校の話をしている。	92.0	↓-0.7
7	子どもたちの学習や生活の様子、学校の様子や教育方針などが、お便りやHP、連絡帳、電話等で分かる。	90.1	↑+0.9
8	困ったことを、担任や富士中央小学校への先生方に気軽に相談できる。(連絡帳・電話などで)	94.2	↑+1.0

前期に引き続き、「食事や睡眠、体力づくり等への配慮」「お便りやの確認」など全ての項目で90%を超える高い数値が見られ、保護者の皆様の教育に対する関心の高さと、学校教育活動へのご協力に深く感謝申し上げます。

保護者アンケートのご意見より

本年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年当たり前のように行ってきたことができない、いつもとは異なる年となりました。しかし、保護者の皆様から「コロナ禍でも、毎日楽しそうに学校へ行ける環境づくりをしてくださる先生方に感謝しています。」などのご意見を多数いただきました。皆様の温かいご理解とご協力に感謝申し上げます。

また、本校教育をより良いものにしていくためのご意見やご提案もいただきました。すべてにお答えすることはできませんが、学校の考えや対応をお知らせします。

(1) 新型コロナウイルス感染症に係ることについて

新型コロナウイルス感染症に関わることにしまして、「行事等できる範囲で開催してほしい。」「活動や行事が少なくなることは残念だが、縮小や人数制限等、安心・安全で引き続きやってほしい。」「ICTをもう少し活用し、再度休校になった場合のシミュレーションをしてほしい。」などのご意見がありました。

状況が日々変化し、見通しを持つことも難しい中ですが、今後も子どもたちの安心・安全を確保しつつ、日常生活や行事など、やり方を工夫しながらできる限り取り組んでいきたいと思っております。ただ、リスクが大きく考えられる場合は、やむなく中止等の選択をしなければならないこともあるかと思っております。その際は、ご理解ください。

感染症対策につきましては昨年度から引き続き、①安心な状態での登校、②手指や用具、設備の消毒、③換気、④マスクの正しい着用、⑤ソーシャルディスタンス、などを行っています。

① 登校後、昇降口が開くのを待つ子どもたちは、前後の友達としっかりと間を開けて待っています。また、昇降口に入る際には、下駄箱で密にならないように教師が声を掛け、5人ずつ入るようにしています。その後、各学年の受付場所で、健康チェックカードの確認及び忘れた子の検温を行い、体調がすぐれない場合は、保護者の方に連絡をさせていただき、安心な状態で学校生活を送れるようにしています。



昇降口前で並んで待つ様子

② 教室に入る際や給食前、お手洗い後の消毒はもちろんのこと、共有のものを使う時なども、手指と使用する道具の消毒をしています。

また、トイレ、教室の出入り口のドアや窓、机など、子どもたちが多く触る場所もステリパワーや消毒用アルコールを使用して定期的に消毒をしています。



放課後の消毒作業の様子

③ 教室では、窓やドアを開け、常時換気しています。そのためエアコンを使用し、夏場は涼しく、冬場は温かい状態にしています。先日、まちこみメールでお伝えしましたように、お子様に応じた寒さ対策のご協力もよろしくお願いたします。

④ 教師も子どもたちも必ずマスクを着用し、マスクを外す給食は黙食をしています。鼻もしっかりと隠すことなど、マスクを正しく着用することを呼び掛けています。

⑤ 教室での授業は基本的に全員前を向いて行います。ペア活動、グループ活動を行う際は、短時間で距離を確保して密にならないようにして行うようにしています。

また、学校に出入りする業者やボランティアの方にもご協力いただき、検温及びマスクの着用をしていただいています。国や県、市から出された指標をもとに、学校としてできる限りの対策を行っております。



アクリル板を設置して

保護者の皆様のご意見の中に、マスクの着用や黙食についてなど、感染症対策を再検討していただきたいとのご意見もいただきました。これらについても指標をもとに、活動の内容や仕方について工夫したり、子どもたちがより安心・安全な学校生活を送れるよう検討したりしておりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

上記の①～⑤を中心に様々な感染症対策を行うとともに、新型コロナウイルス感染症に関する差別、偏見、いじめがないように子どもたちの心の面も育てることを続けています。未成年者への感染も広がっている現状だからこそ「正しい情報に基づいて冷静に対応すること」「相手の気持ちに思いを向けた言葉を心掛けるこ

と」等、学校全体で昨年度から指導している「5つの誓い」をさらに意識し、相手を思う気持ちの育成を引き続き大切にしていきたいと思います。

子どもたちは、私たち大人の行動をよく見えています。各ご家庭におかれましても「新しい生活様式」を意識し、新型コロナウイルス感染症が収束し、これまでのような生活に戻ることができるよう願ひ、さらに、周りの人々に対して思いやる心が持てるよう一緒に指導していきましょう。

(2) 学校行事について

「このような状況の中、仲間と過ごすことがとても嬉しく、良い時間を過ごすことができている。」「日々変化する状況の中で、行事等も子どもたちのために行ってください、私たち保護者の良い思い出にもなっている。」また、「コロナウイルス感染症が落ち着いても運動会は今のままで良いと思う。」「授業参観を分散させることで、大変見やすかった。」など、現在の取組を肯定的に捉えてお答えくださった方がとても多くいらっしゃいました。

一方で、「コロナへの対応が過敏なのでは。」「行事を従来の開催方法に戻していただきたい。」とのご意見もいただきました。世の中の動静や、行事への十分な検討を重ねながら取り組んできています。今後も子どもたちの安全を第一に考え、十分なゆとりを持って取り組めるようにしていきながら、開催の有無や内容、開催の仕方など検討していきたいと思ひます。安心・安全という面と、子どもたちを育てるといふ両面から検討し、最善の方法を取っていきたく思ひます。様々なご意見をありがとうございました。



レインボーライブフェス
～動画配信での発表後に、各クラスに動くおもちゃを届ける様子～

(3) HPについて

「HPの学校の活動のところで、日々の様子が伝わってきて、学校の話を知るので助かっています。」「HPの中央小の活動をいつも楽しみにしている。これからも続けてほしい。」と、HPに関しての好評なご意見が多くありました。予定していた授業参観が中止になってしまうなど、本年度も感染症拡大防止のため、保護者の皆様のご来校を控えていただくことになり、大変残念で申し訳なく思ひます。

HPを積極的にご覧になって子どもたちの学校生活の様子をご理解くださり、感謝申し上げます。今後もHP等を活用して学校の様子を随時配信していきます。

(4) 学校と家庭との連携について

「欠席連絡がマチコミで行えるようになり、とても便利になりました。」「アルミ缶回収などのお知らせをしてもらえてありがたい。」「学校での様子等で気になることを連絡いただき、一緒に考えていただき大変ありがたい。」という前向きなお言葉を多くいただきました。一方で、「行事が中止となってしまっているの、どんな授業が行われているのか分かりません。」「友達と仲が良いのか分からなく心配です。」と子どもたちの友達関係等を心配するご意見がありました。また、「学校のHPやメール等のお知らせがうまく開けないので困っている。」というご意見もありました。教育相談日だけでなく、お子さんのことや学校に関することでご相談がありましたら、担任でも他の職員でもいつでもお気軽にご相談ください。

(5) 荷物の持ち帰りについて

「長期休み前の道具箱の持ち帰りは大変そう。」「タブレットでさらに重くなった荷物が大変そうに見える。」というご意見をいただきました。これらのご意見をもとに、冬休み前の荷物の持ち帰りについては、まちこみメールにて連絡をさせていただき、学校においていてもよいなどの対応を取らせていただきました。

タブレットについては、ロイロノートを使用して音読を録画したり、調べ学習やチャレンジ学習、学習のまとめをご家庭で行ったりするために持ち帰り、活用しています。ご意見にもありますように、タブレットを持ち帰ることで荷物が増え、子どもたちに負担をかけています。家庭での学習に必要な教科書や資料集等は学校に置いておくなどの対応を学校全体でとっていきます。

(6) その他

第2回学校評価では、「お便りの電子化が進むと管理が楽になるのではないか。」や「オンラインで授業参観をしてくださると学校の様子が分かると思う。LIVEでなくても動画でも。」などたくさんのご意見をいただきました。全てにお答えすることができませんが、全てのご意見に全教職員が目を通しており、今後も検討していきたいと思ひます。

今後も子どもたちの教育活動、教育環境の充実のためにどうぞご協力をよろしくお願いいたします。